

更新日 平成29年 8 月 18日

平成29年度第 1 回日置市文化財保護審議会の結果について

1	日時	平成29年 8 月 9 日（水） 午後 3 時から午後 4 時30分まで
2	場所	日置市中央公民館 3階 研修室 2・3 （日置市伊集院町郡一丁目100番地）
3	議題及び審議会の結果概要	(1) 役員改選 上記の件について協議し、下記のとおり決定した。 会長 帖佐秀人 副会長 楠生恭二 (2) 平成29年度事業計画について 上記の件について審議し、事務局説明後、提案のとおり決定した。 (3) 大汝牟遅神社奉納品について 上記の件について審議し、継続審議とした。 (4) その他 上記の件について事務局より内容のとおり報告した。
4	出席委員	帖佐秀人、楠生恭二、石川みどり、紙屋和信、大迫一弘、下野衛、川元茂信
5	公開・非公開の別	公開
6	傍聴者数	1 人
7	問合せ先	日置市教育委員会社会教育課 電話099-248-9432（直通）

平成 29 年度 第 1 回日置市文化財保護審議会



赤山靱負（^{ひさひろ}久普）墓（日吉地域）

日時 平成 29 年 8 月 9 日（水）15：00～

場所 日置市中央公民館講座室 3

《会次第》

- 1 開会
- 2 辞令交付
- 3 教育委員会あいさつ
- 4 協議
 - (1) 役員改選
 - (2) 平成29年度事業計画について
 - (3) 大汝牟遅神社奉納品について
 - (4) その他
- 5 閉会

日置市文化財保護審議会委員

任期 平成 29 年 8 月 1 日～平成 31 年 7 月 31 日

役職	氏名	住所
副会長	楠生恭二	日置市東市来町
	石川みどり	日置市東市来町
会長	紙屋和信	日置市伊集院町
	帖佐秀人	日置市伊集院町
	大迫一弘	日置市日吉町
	西郷隆文	日置市日吉町
	下野衛	日置市日吉町
	川元茂信	日置市吹上町

事務局名簿

《事務局》	役職	氏名
日置市教育委員会 社会教育課文化係 Tel. 099-248-9432 FAX. 099-273-3145	社会教育課長	梅北浩一
	東市来支所教育振興課長	福山誠
	日吉支所教育振興課課長	丸田明浩
	吹上支所教育振興課長	秋葉久治
	社会教育課文化係長	田代誠治
	吹上支所教育振興課主幹	常田和彦
	社会教育課文化係専門員	瀧川哲哉
	社会教育課文化係調査員	西久保淳美

1 平成29年度事業計画について

(1) 発掘事業

ア 発掘調査済

- (ア) 市ノ原遺跡（東市来・長里） 確認調査
調査日：平成29年4月13日（木）
- (イ) 垂口遺跡（日吉・吉利） 確認調査
（農業基盤整備事業（平成29年9～11月着工予定）圃場整備）
調査期間：7月18日（火）～7月21日（金）
- (ウ) 吉利古城遺跡（日吉・吉利）工事立会
調査日：8月2日（水）

(2) 保護事業

ア 文化財保護審議会及び研修会の開催

- (ア) 鹿児島市・郡・日置地区文化行政文化財保護審議会委員研修会
6月22日（木） 於：鹿児島市ふるさと考古歴史館
- (イ) 第1回日置市文化財保護審議会
8月9日（水） 於：日置市中央公民館
- (ウ) 第2回日置市文化財保護審議会 ※予定
2月26日（月） 於：日置市中央公民館

イ 県・市指定無形民俗文化財の公開・発表

(ア) 県指定

- 吹上伊作太鼓踊り 8月28日（月）・29日（火）南方神社・吹上町内各地
- 吹上妙音十二楽 10月12日（木）中島常楽院
- 伊集院大田太鼓踊り 10月21日（土）徳重神社・大田神明神社
- 伊集院徳重大バラ太鼓踊り 10月21日（土）徳重神社・日枝神社
- 吹上流鏝馬 11月23日（木・祝）大汝牟遅神社

(イ) 市指定

- 日吉お田植え踊、せつぺとべ 6月4日（日）鬼丸神社・日

置八幡神社

伊作田踊り（東市来） 8月15日（火） 元伊作田伊作田どん
（伊作田兵部太夫道材の墓地前）鶴城寺・伊作田地区

北山の火振り（東市来） 8月15日（火） 北山納骨堂

諏訪・八幡太鼓踊り（日吉） 8月27日（日）南方神社・日置
八幡神社

吉利太鼓踊り（日吉） 8月19日（土） 南方神社・北区自公
民館

ウ 民俗芸能等伝承活動支援事業費交付金
対象団体66団体 予算14,000千円

エ 文化財の保護・管理

(ア) 文化財パトロール

5月18日（木）東市来、5月24日（水）日吉、5月25日（木）
吹上、5月26日（金）伊集院

(イ) 保護会（自治会）に補助金、人材センターや管理公社に委託

オ 文化財標柱及び説明板設置・修繕

(ア) 随時（予算の範囲内で行う）

(イ) 地域振興推進事業「西郷どん」ゆかりの地環境整備事業」（商
工観光課）※予定

伊集院 本田兄弟墓碑 誘導看板・史跡説明板設置

日吉 赤山靱負の墓 参道整備・誘導看板・駐車場看板・史跡
説明板設置

小松帯刀墓地（園林寺跡）史跡説明板設置

吹上 西郷どんの御座石・屋敷跡・手洗い鉢 誘導看板・史跡
説明板設置

西郷南州翁来遊の碑 誘導看板・史跡説明板設置

カ 市子ども会史跡めぐり等の開催

- (ア) 史跡めぐり歩こう会
2月17日(土) 4地域で実施予定

キ 文化財調査

- (ア) 日吉地域田の神像調査 ※予定

- (イ) 永尾家文書 ※予定

熊野神社(伊集院・猪鹿倉)関係史料(近世)

(3) 資料館運営

ア ひよし歴史資料室(日置市役所日吉支所2階)

日吉支所新築に伴い、県地域振興推進事業を活用し、「ひよしの歴史探訪拠点施設」として平成29年3月30日(木)設置開館した。日置島津家や吉利領主小松(禰寝)家など、日吉地域の近世期から明治維新期の歴史や人物に関わる所蔵資料・複製資料を展示するとともに、歴史の情報発信を図るための環境整備を行った。

(ア) 資料貸出

貸出先：鹿児島県歴史資料センター黎明館

大政奉還150周年黎明館企画展「小松帯刀とその時代」

会期：5月16日(火)～9月3日(日)

貸出資料：伝小松帯刀作天吹・桂久武宛小松帯刀書簡(慶応3(1867)年8月4日付)

貸出期間：5月2日(火)～9月8日(金) ※貸出中

展示期間：5月16日(火)～9月3日(日)

イ 吹上歴史民俗資料館

昭和57年11月開館。吹上地域における歴史、郷土芸能や民俗に関する資料を展示している。平成28年11月のリニューアルに伴い、伊作城を拠点とした伊作島津家から出た島津忠良と、同家から島津宗家を継いだ貴久とその子義久・義弘ら兄弟が、島津家を戦国大名・近世大名へと成長させていく過程を資料とともに展示している。

(ア) 展示替

常設展新コーナー「戦国島津と常楽院」開設

10月28日（土）・29日（日）無料開放日以降公開予定

(イ) 資料貸出

貸出先：鹿児島県歴史資料センター黎明館

企画特別展「かごしまの仏たち」～守り伝える祈りの造形～

会期：9月28日（木）～11月5日（日）

貸出資料：日置市指定有形文化財（彫刻）吹上町小牧の阿弥陀如来像一軀・阿弥陀如来像・水天権現像・妙音天像（常楽院寄託資料）

貸出期間：9月1日（金）～11月30日（木） ※貸出予定

展示期間：9月28日（木）～11月5日（日）

(4) 文化財関連事業

ア 明治維新 150周年関連事業

(ア) 全国おやじサミット鹿児島大会 in HIOKI 2017

（日置市PTA連絡協議会主催）

鹿児島県PTA活動研究委嘱公開（日置市PTA連絡協議会）

基調講演 鹿児島県立図書館館長 原口泉氏「西郷どんと明治維新」

11月4日（土） 於：日置市伊集院文化会館

(イ) 次年度事業の策定

2 おおなむち 大汝牟遅神社奉納品について（平成28年度未答申）

(1) 概要

大汝牟遅神社は日置市吹上町中原宮内にあり、大己貴命・仲哀天皇他6柱が祭神となっている。創建年は不明であるが、文安元年（1444）の再興棟札があったと『三国名勝図会』に記されている。伊作島津家やその系譜を引き継ぐ戦国期以降の島津本家の崇敬が篤かった。

同神社で毎年11月に催される流鏝馬は県指定無形民俗文化財に、近隣の千本桶は市指定の天然記念物になっている。

神社奉納品は、このような背景を受け、中世以降の資料が中核となっている。12面の鏡のうち、4面が中国王朝や朝鮮半島で作成されたものであることから、この神社一帯が海外交流と深いつながりがあったことを示唆している。また、戦国時代の「中興の祖」として知られる島津忠良や、江戸後期の26代島津斉宣が奉納した品は、島津家との関連を明確にあらわしている。

現在、これら資料群は吹上歴史民俗資料館に寄託されている。大汝牟遲神社周辺における海外交流と島津家とのつながりを現代に伝える資料群であり、日置市として守り伝え続ける必要があるものと考えられる。

(2) 一覧

ア 鏡 12点

- 文字入八稜鏡 直径 145mm 中国製 宋代 (12～13世紀)
- 重圈鏡 直径 122mm 中国製 元～明代 (13～15世紀)
- 素文鏡 直径95mm 中国製 元～明代 (14～15世紀)
- 菊花散梵字鏡 朝鮮製 直径 161mm 李氏朝鮮代 (14～15世紀)
- 亀甲地双鳥鏡 直径 102mm 鎌倉時代 (14世紀)
- 蓬萊鏡 直径 108mm 南北朝～室町時代 (14～15世紀)
- 社殿山水双鳥鏡 (住吉鏡) 直径 110mm 室町時代 (15世紀)
- 素文鏡 直径 103mm 室町～江戸時代 (16～17世紀)
- 蓬萊鏡 直径 115mm 江戸時代 (17世紀)
- 蓬萊鏡 直径 119mm 「天下一」銘 江戸時代 (17～18世紀)
- 四獣鏡 直径 183mm 古墳時代 (4～5世紀) 力
- 蓬萊懸鏡 直径 167mm 江戸時代 (17世紀) 「人見和泉守」陽鑄、
「春成六慶」墨書

イ 古文書

- 八幡領知行目録 天正20 (1592) 年、町田久倍 大破
- 八幡領知行添状 天正20 (1592) 年、島津義久在判 315× 460

mm

寺社奉行書状（箆・母衣） 寛政9（1797）年 195×787mm

寺社奉行書状（短冊） 文化5（1808）年 195×730mm

ウ その他

島津日新公寄進御箆 底92×75mm、92×140mm

島津斉宣公御詠歌短冊 2点 文化5（1808）年375×55mm（2点ともに）

狩衣 2点（ともに大破）

袴

笙 長さ455mm、底径7mm

木箱（箆・母衣用）

木箱（短冊用） 382×77×85mm

陰燈 75×110×220mm

祭祀用刀 2振 長さ745mm 鯉口幅35mm（2振ともに）

竿はかり 長さ360mm、幅90mm

薬調合ガラス棒 長さ165mm

薬調合さじ 長さ170mm

3 その他

(1) 日置島津家祠堂内石碑の破損について（報告）

8月3日（木）、日置島津家祠堂域内（日吉町日置5679）に建てられた石碑が、7月11日（火）の鹿児島湾を震源とする地震で倒れて破損したと、日置市文化財保護審議会委員西郷隆文氏より報告があり、同日、破損状況を確認した。

日置島津家祠堂は、元鹿児島市の日置島津家屋敷内（俗称「日置どん屋敷」）にあったもので、代々祖霊を氏神として祀ったものである。昭和7（1932）年、同祠堂が大乗寺跡（日吉町日置5680・市指定記念物（史跡））隣の現在地に遷座し（『日吉町郷土誌』上巻）、同石碑も同祠堂とともに移設されたものと思われる。碑文は、天保13（1842）年3月付の川上某氏によるもので、「登瀛^{とえいきょう}橋」の記念碑と思われる。同域内には、対と思しき「登瀛橋」碑（天明7年9月山本正誼）も建っている。

(3) その他